

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

A. コースワークの充実・強化

②分野横断的な科目群、副専攻科目群等の充実

●立命館大学言語教育情報研究科言語教育情報専攻

「国際通用性を高めた言語教育専門家の養成」の事例

(具体的に何を実施したのか)

言語教育分野の人材養成のコースワークを見直す中で、学校教育臨床教育研究科目群(学校インターンシップやクラスルームリサーチ)、学習者支援研究科目群(教育発達心理学や認知科学と言語教育など)、など新しい視点で科目の新設とカテゴリー化をはかり、また言語教育に活用可能な言語コーパスやツール、環境の整備を行った。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

言語教育分野の人材養成をはかるために、これまで開設している教科固有の専門科目だけではなく、教育心理系や認知科学系分野の科目なども広い視野で位置づけて、新しくカリキュラムを編成した。また、英語および日本語の言語コーパスの追加導入や利用機器やツールの拡充整備を行った。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

教職支援系の隣接科目の充実によって、これらの科目の履修者が増え、修了後に教職分野への進路を実現する学生が着実に増えてきている。また、コーパス利用のためのワークショップの頻繁な開催により参加者のスキルの向上がはかれた。

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

A. コースワークの充実・強化

③国内外の大学との単位互換協定やダブル・ディグリー等による教育課程の充実

《人社系》

●立命館大学言語教育情報研究科言語教育情報専攻

「国際通用性を高めた言語教育専門家の養成」の事例

(具体的に何を実施したのか)

カナダのブリティッシュ・コロンビア大学 (UBC) との協定により実施中の TESOL (英語非母語話者への英語教授) 資格取得プログラムに追加して、オーストラリアのサザーン・クイーンズランド大学 (USQ) と新たに協定を結び、夏期の 5 週間で完結する 2 つめの TESOL プログラムを開発・実施した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

既存のカナダの UBC との協定にもとづく TESOL プログラムは、2 年間にわたって履修するものであり、現職教員や社会人院生など、短期間で集中した履修で資格取得を希望する学生のために、オーストラリアの大学で実施する新しい TESOL プログラムの特徴づけを明確にして、2 つのプログラムの差別化をはかった。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

TESOL プログラム参加者の母体層を広げ、多様な条件のある院生にも資格取得の機会を増やすことができた。

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

B. 円滑な学位授与の促進

③論文作成支援の充実

●立命館大学言語教育情報研究科言語教育情報専攻

「国際通用性を高めた言語教育専門家の養成」の事例

(具体的に何を実施したのか)

英語および日本語のライティング・チューターを配置して、英語論文・レポートの執筆支援ををはかり、また留学生の日本語での論文・レポート作成の支援を正課科目外で行った。こうしたライティング指導の成果が、修了時点のリサーチペーパーの作成にも反映するようにした。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

英語のライティングチューターは、前期は TESOL プログラム参加者の事前指導ともなるようなライティング指導を行い、後期は英語論文ライティングの個人指導としても機能することをめざした。外国人留学生の日本語論文執筆の助言や指導には、日本語ランティングチューターを配置して日常的な相談に乗れるような体制を作った。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

年度末に発行する院生論集には、修了予定者の中のレベルの高い論文が多く集まり、毎年度発行することが可能となった。また、こうした院生論集の発行は、1 回生など、これから論文執筆を予定している院生のための良い見本にもなっている。